

(報告)

京都府民のスポーツに関する実態調査について

令和5年4月18日
保健体育課

京都府民のスポーツに関する実態調査の結果について、下記のとおり報告します。

記

1 目的

府民が生涯にわたりスポーツライフを楽しめるよう、今後のスポーツ施策の充実を図るための基礎資料とすることを目的に、府民のスポーツ実施状況に関する意識と実態についての調査を実施

2 調査について

(1) 調査期間 令和4年10月14日(金)～令和4年11月11日(金)

(2) 調査設計

調査地域	京都府内全域
調査対象	府内在住の18歳以上の男女・個人
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿
抽出方法	層化二段無作為抽出法 (府内市(区)町村別)

(3) 調査項目

ア 基本情報(回答者の性別、年齢、居住地、職業等)

イ 運動・スポーツの実施状況

(4) 回答数 有効回答数：1,087件 (有効回答率36.2%)

3 結果の概要(別紙のとおり)

(1) 成人の週に1日以上スポーツ実施率は57.2%に大きく増加。(前回平成29年調査：48.7%)「ウォーキング」の増加や、今回調査から新たに追加した「階段昇降」が入ったことが、日常の中での運動が実施率を向上させた要因。

(2) スポーツに関する情報を得る方法で、SNSを活用する場合、年代によって効果的な方法で広報する必要がある。

(3) スポーツの週1回以上の観戦においては、すべての年代において男性の方が女性よりも高くなっている。

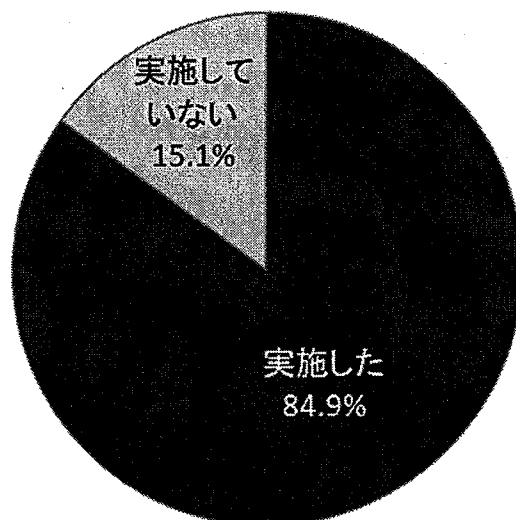
(4) スポーツに対して、する、みる、ささえるの「何かに関わった人」の割合(スポーツ関連率)を初めて算出。週1日以上頻度は70.8%となった。

4 今後について

調査結果を4月19日(水)に公表

京都府民のスポーツに関する実態調査 調査結果トピックス

P13 問8 「この1年間の運動・スポーツの有無」



N=1,087

○この1年間に運動を『実施した』割合は、84.9%となっている。一方、『実施していない』と回答した割合は、15.1%となっている。

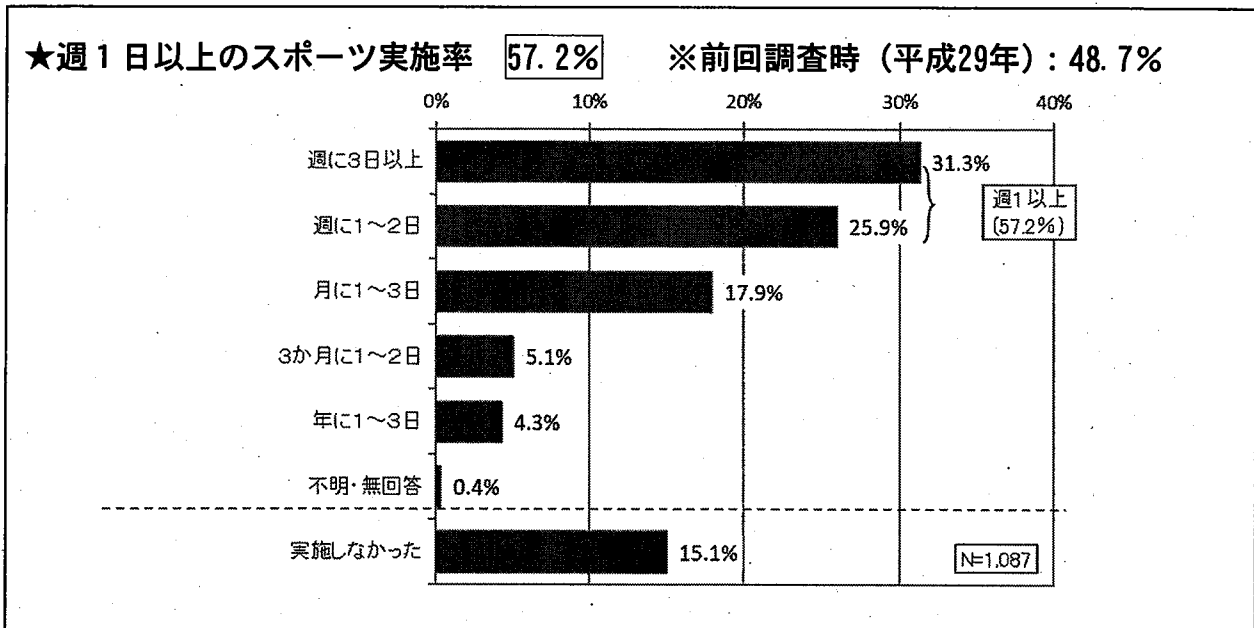
※前回調査時 (H29) 『実施した』85.9% 『実施していない』12.2%

問8の実施種目上位3種目

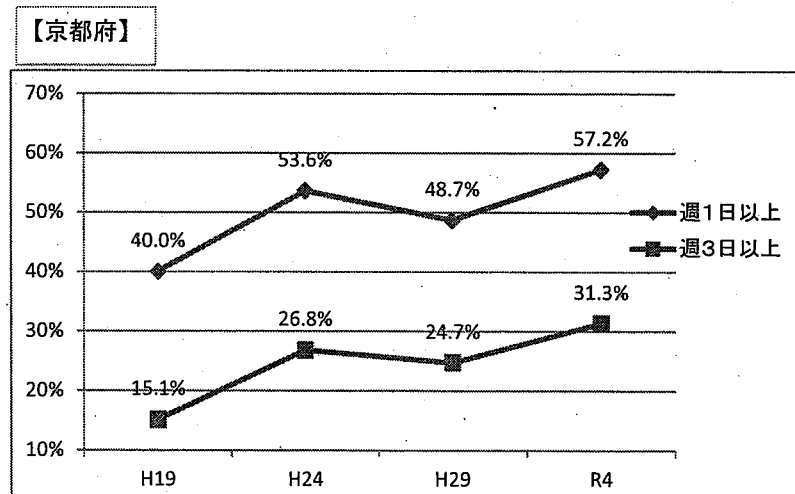
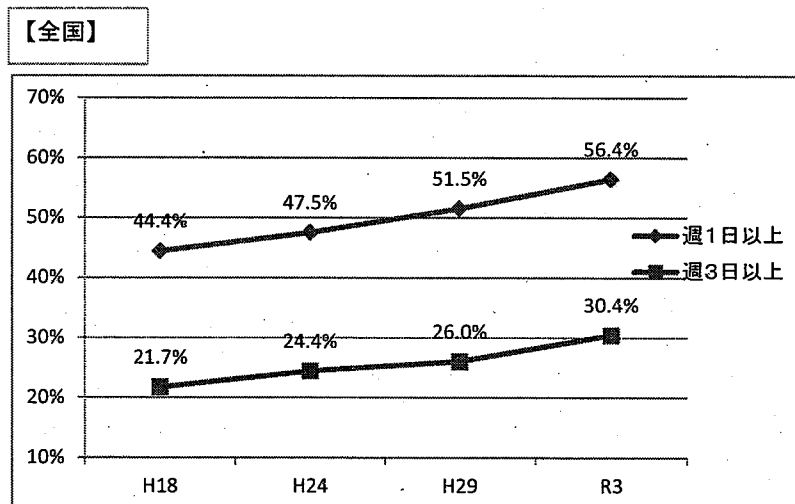
・ 1位 ウォーキング : 71.2% ・ 2位 体操 : 23.0% ・ 3位 階段昇降 : 21.5%

P16 問9「運動・スポーツの実施頻度」

○前回調査より大幅に増加。「ウォーキング」の割合の増加や、新たな選択肢である「階段昇降」が上位に入っているなど、「日常生活の中での運動」が実施率向上につながっている。



【実施率の経年比較】



P26 問13「運動・スポーツの実施形態」

○「個人で自由に」が69.7%で最も多く、以下、「家族と」が23.7%、「地域の友人と自由に」が12.1%と続いている。

P29、59 問14、26「情報を得る方法」(するスポーツ、みるスポーツ)

○スポーツを実施する場合の情報源としてSNSでは「Instagram (インスタグラム)」が効果的で、年齢が若くなればなるほど、活用している。

○スポーツを観戦する場合は、「Twitter (ツイッター)」がより効果的で、特に20歳代以下に関しては有効な手段となることが分かる。

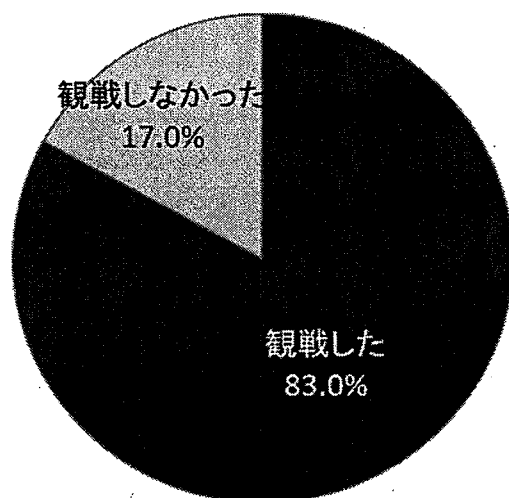
「するスポーツ」

(複数回答)	ホーム ページ や	T w i t t e r (ツ イ ッ タ ー)	I n s t a g r a m (イ ン ス タ グ ラ ム)	F a c e b o o k (フ ェ イ ス ブ ッ ク)	T i k T o k (テ ィ ッ ク ト ッ ク)	
全体 (N=923)	27.8%	5.5%	10.2%	2.8%	1.1%	
年 代 別	20歳代以下 (n=98)	21.4%	22.4%	32.7%	1.0%	4.1%
	30歳代 (n=95)	33.7%	8.4%	20.0%	4.2%	2.1%
	40歳代 (n=155)	30.0%	4.5%	12.3%	0.6%	1.9%
	50歳代 (n=201)	33.3%	4.5%	8.5%	6.0%	0.5%
	60歳代 (n=180)	21.7%	1.7%	2.2%	3.3%	0.0%
	70歳代以上 (n=193)	12.4%	1.0%	1.6%	1.0%	0.0%

「みるスポーツ」

(複数回答)	ホーム ページ や	T w i t t e r (ツ イ ッ タ ー)	I n s t a g r a m (イ ン ス タ グ ラ ム)	F a c e b o o k (フ ェ イ ス ブ ッ ク)	T i k T o k (テ ィ ッ ク ト ッ ク)	
全体 (N=902)	22.2%	8.9%	7.5%	3.0%	0.2%	
年 代 別	20歳代以下 (n=75)	10.7%	36.0%	22.7%	1.3%	0.0%
	30歳代 (n=84)	36.9%	16.7%	15.5%	6.0%	1.2%
	40歳代 (n=149)	37.6%	14.1%	8.1%	2.7%	0.7%
	50歳代 (n=205)	29.8%	6.3%	8.8%	4.9%	0.0%
	60歳代 (n=180)	18.3%	1.7%	2.8%	1.7%	0.0%
	70歳代以上 (n=208)	5.3%	1.0%	1.4%	1.9%	0.0%

P51 問23「スポーツの観戦状況」

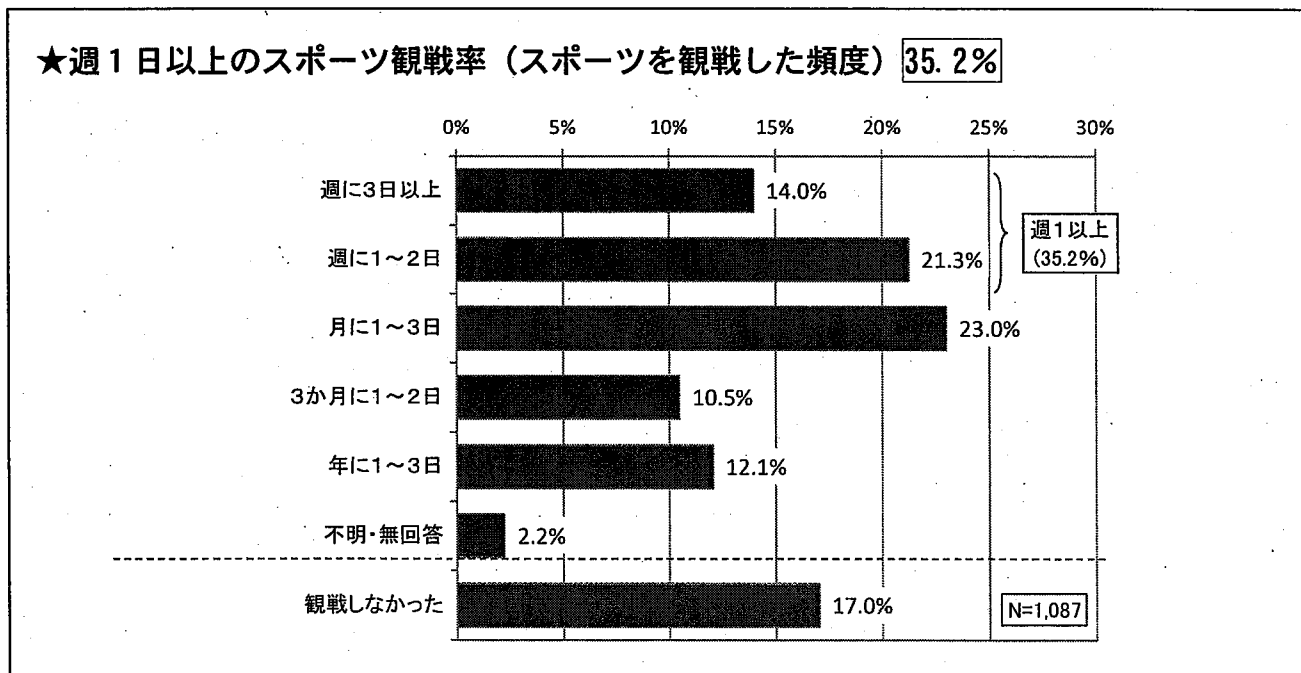


N=1,087

○この1年間にスポーツを『観戦した』割合は、83.0%となっている。一方、『しなかった』と回答した割合は、17.0%となっている。

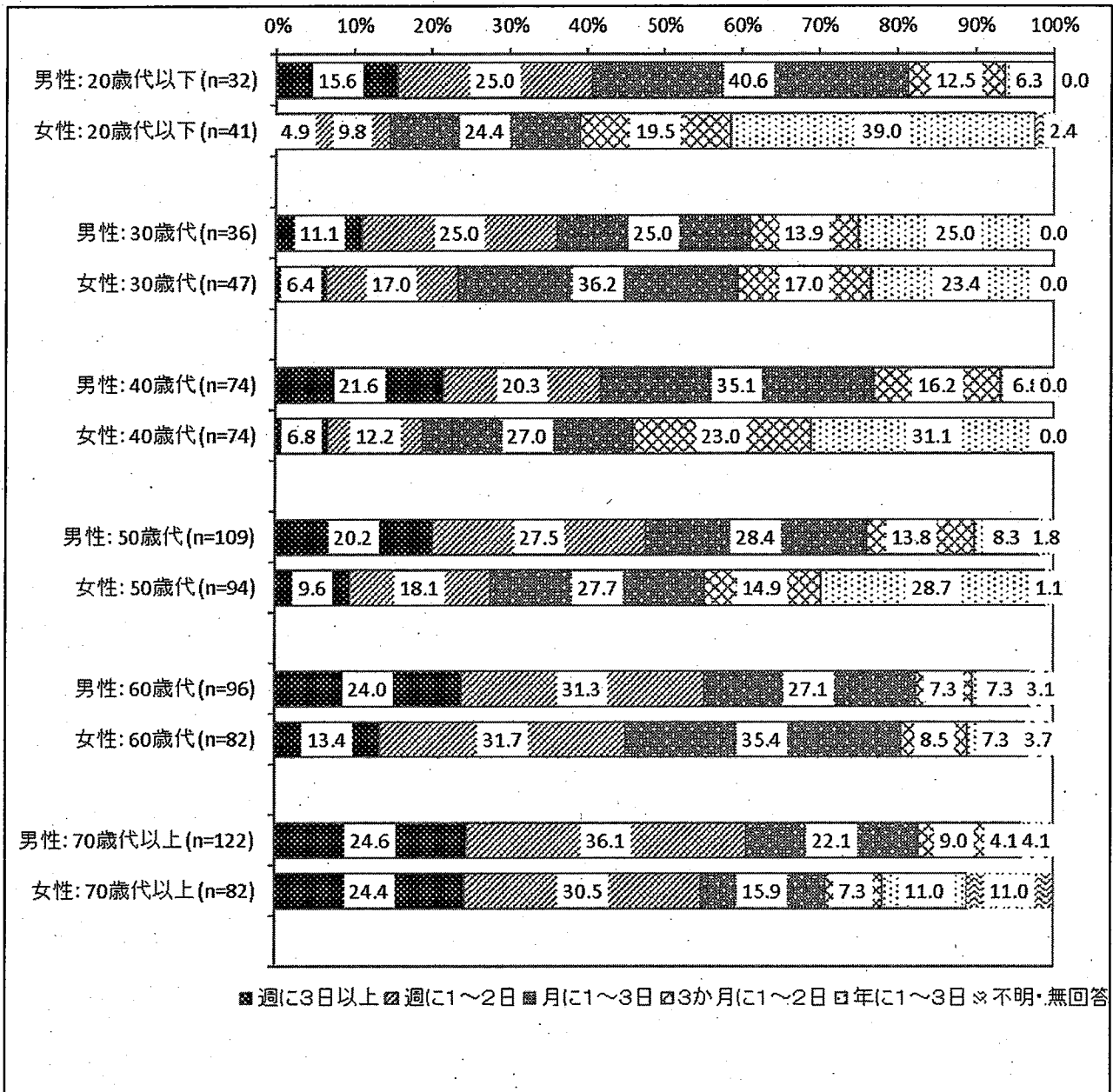
※参考：前回調査時（平成29年）『観戦した』91.6% 『しなかった』7.2%

P55 問25「観戦した頻度」

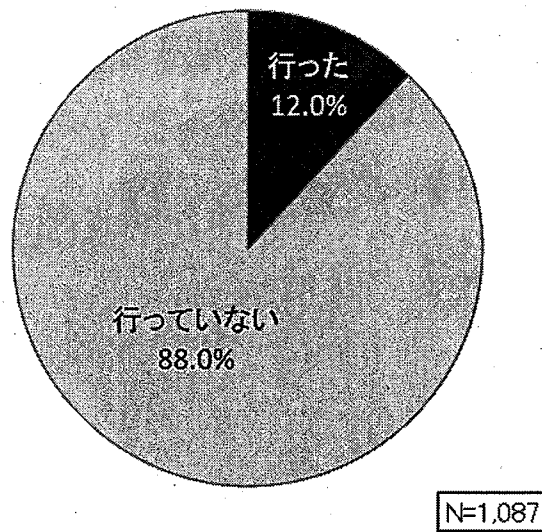


※補足 P57 「問25 観戦した頻度の年代別男女の比較」

○すべての年代において、週1日以上の観戦頻度は、男性の方が女性より高くなっている。



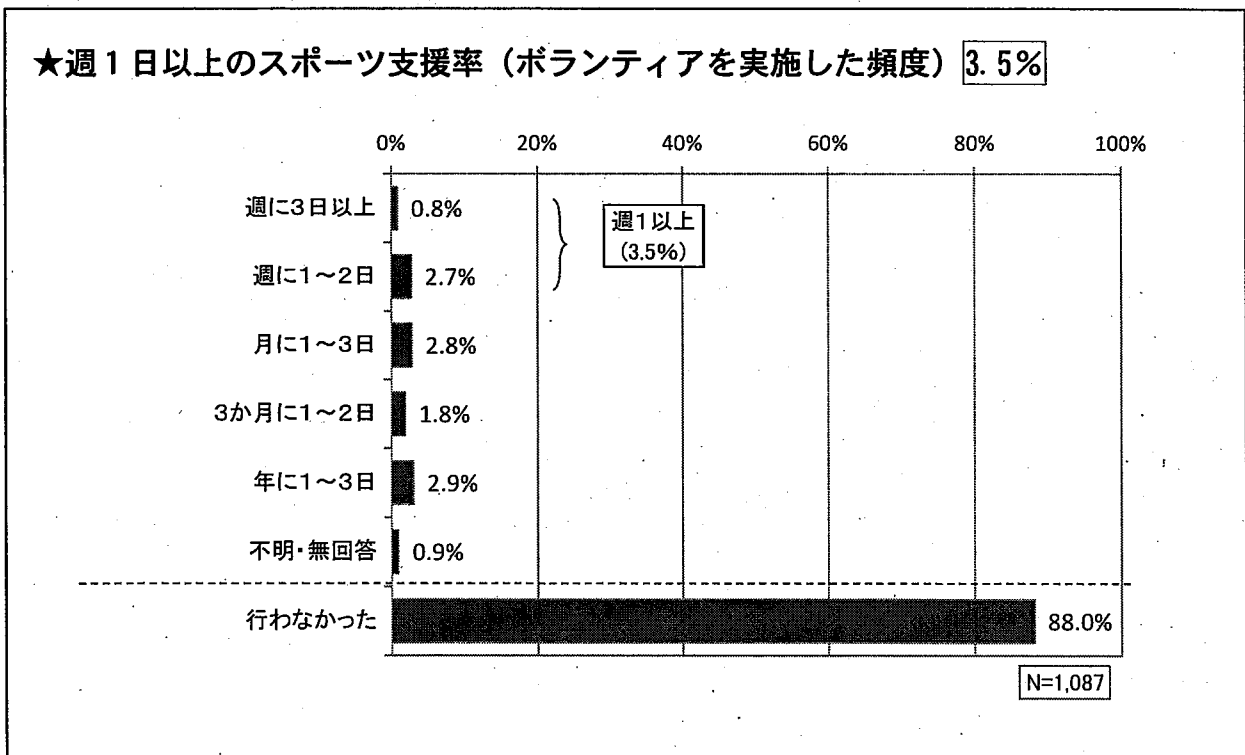
P62 問28 「ボランティアの実施について」



○ボランティアの実施については、『行っていない』が88.0%を占めており、『行った』割合は、12.0%にとどまっている。

※参考：前回調査時（平成29年） 『行った』7.8% 『行っていない』89.6%

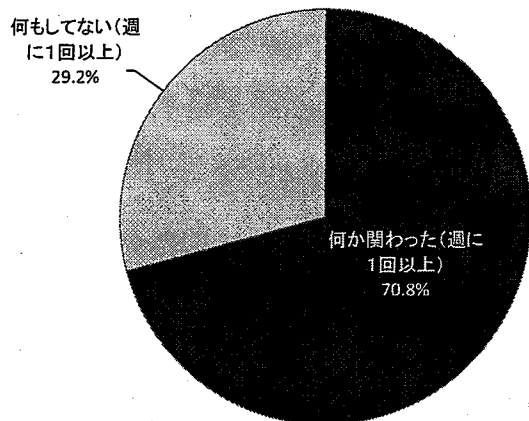
P67 問30 「ボランティアの実施頻度」



P116 【指針用データ】スポーツ関連率について

- ①定義 スポーツ関連率：「する」「みる」「ささえる」スポーツに、どの分野でも何かに関わった人の割合。
- ②算出方法：スポーツの実施、観戦、ボランティアの参加について、ひとつでも実施していればカウント。
- ③関連率を出す意味：スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」の関わりを数値化。

○スポーツ関連率（週1回以上） R4 スポーツ関連率 70.8%



N=1,087

○『何か関わった(週に1日以上)』割合は 70.8%となっている。一方、『何もしてない(週に1日以上)』と回答した割合は、29.2%となっている。

○性別では、男性が 74.7%と女性と比べて 7.1%高くなっている。また、60歳代～70歳以上や、自営業、家事専業、無職などが他と比べると高くなっており、時間の使い方を自分で工夫できる層において、スポーツ関連率が高い傾向があると考ええる。

